

2024年3月期 第1四半期

決算短信補足資料

2023年8月

 全国保証株式会社

for your dream and happiness

証券コード:7164

Executive Summary

- 住宅市場の新設住宅着工戸数は、不動産価格高騰などの影響を受け、前年同期を下回り推移、住宅ローン市場においては、底堅い動きとなった
- 新規保証実行件数の増加、1件あたり保証金額の上昇などにより新規保証実行金額は、前年同期を上回り推移、保証債務残高の着実な積み上げを図った
- 東日本保証サービス株式会社の株式取得による連結子会社化やRMBS購入等の実施など、既存住宅ローン市場からの保証残高獲得の取り組みを行った
- スタートアップ企業との協業等による事業創出を図ることを目的にCVC（コーポレートベンチャーキャピタル）ファンドの設立に向けた取り組みを実施



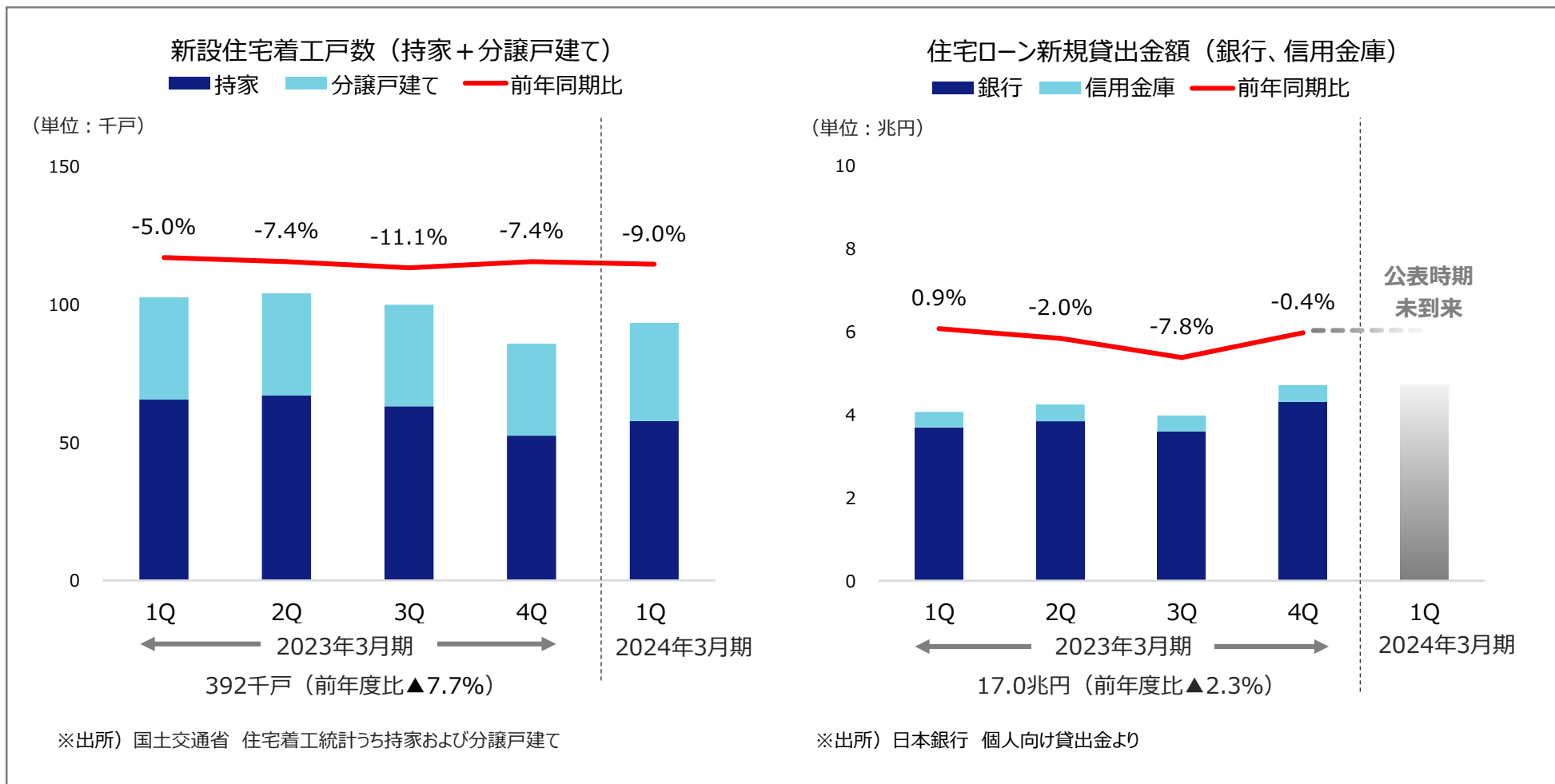
1. 決算の概要



2. 2024年3月期の取り組み進捗

住宅市場および住宅ローン市場

- 新設住宅着工戸数のうち、持家と分譲戸建ての合計は、住宅価格高騰などによる需要低下の影響を受け前年同期を下回った
- 住宅ローン市場においては、底堅い動きとなった

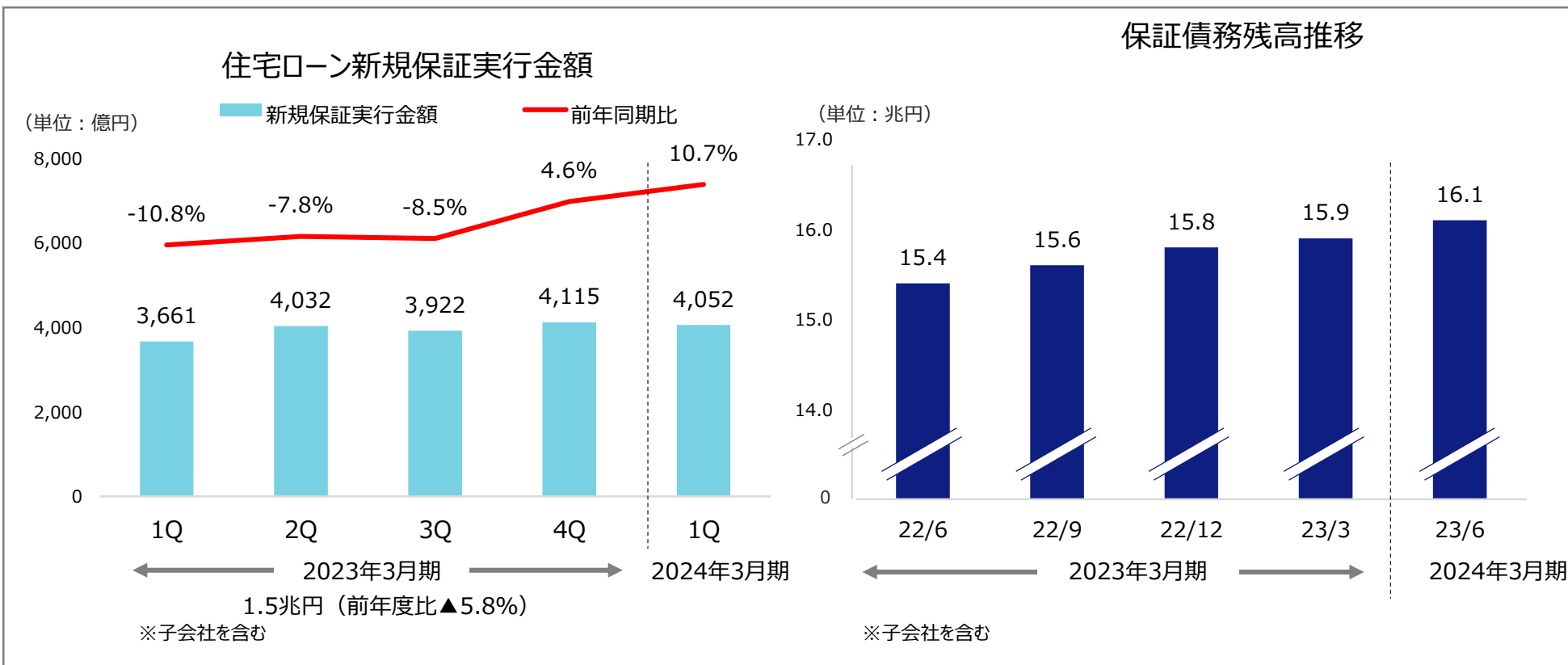




新規保証実行および保証債務残高の状況

2024年3月期計画	
新規保証実行件数	60,000件
2024年3月期1Q実績	13,610件
保証債務残高	17兆0,000億円
2024年3月期1Q実績	16兆1,519億円

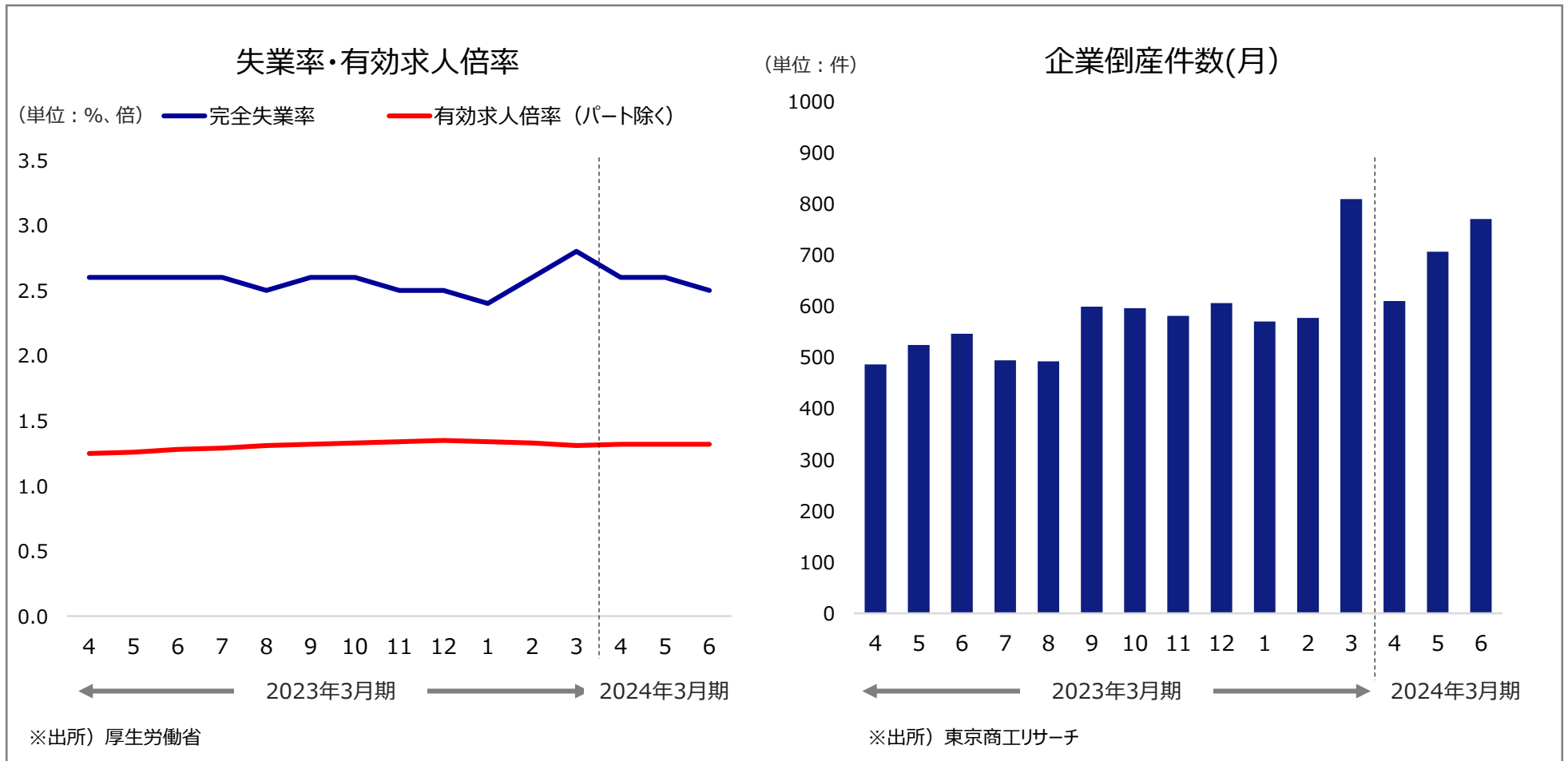
- 新規保証実行
新規保証実行件数は13,610件（前年同期13,072件）、新規保証実行金額は4,052億円（前年同期3,661億円）、件数および金額ともに前年同期を上回った
- 保証債務残高
新規保証実行金額の増加（オーガニック成長）および他の保証会社の子会社化（インオーガニック成長）による保証債務残高の着実な積み上げを実施





失業率・有効求人倍率および企業倒産件数

- 当社の代位弁済率と相関関係にある失業率は、低水準で推移している
- 企業倒産件数は、物価高を背景とした倒産が増加傾向となっている





代位弁済金額および求償債権回収の状況

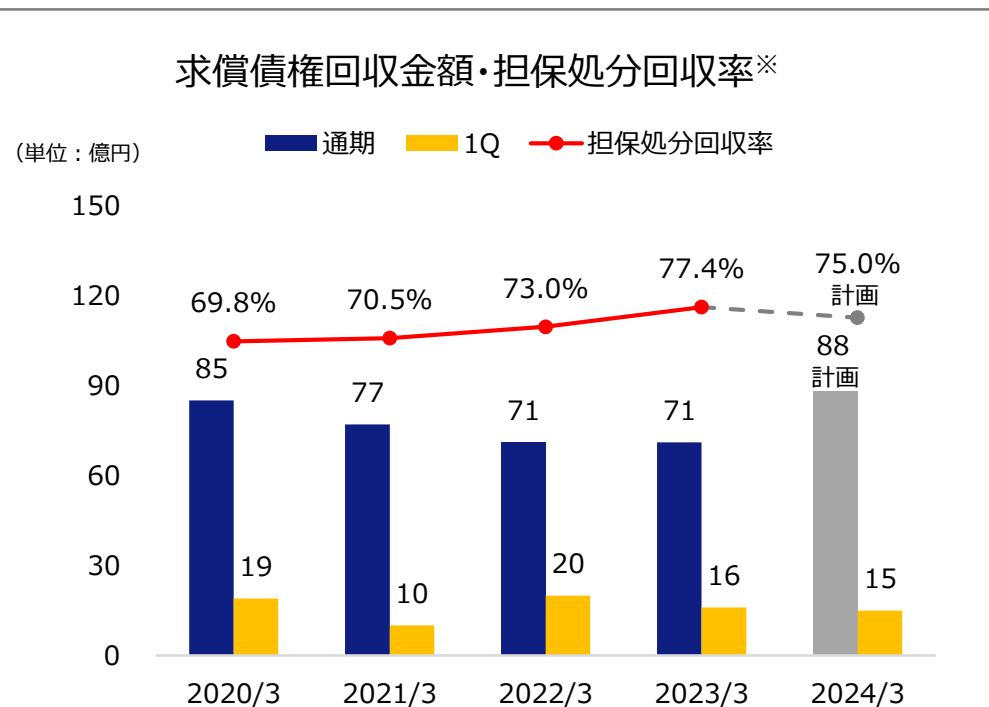
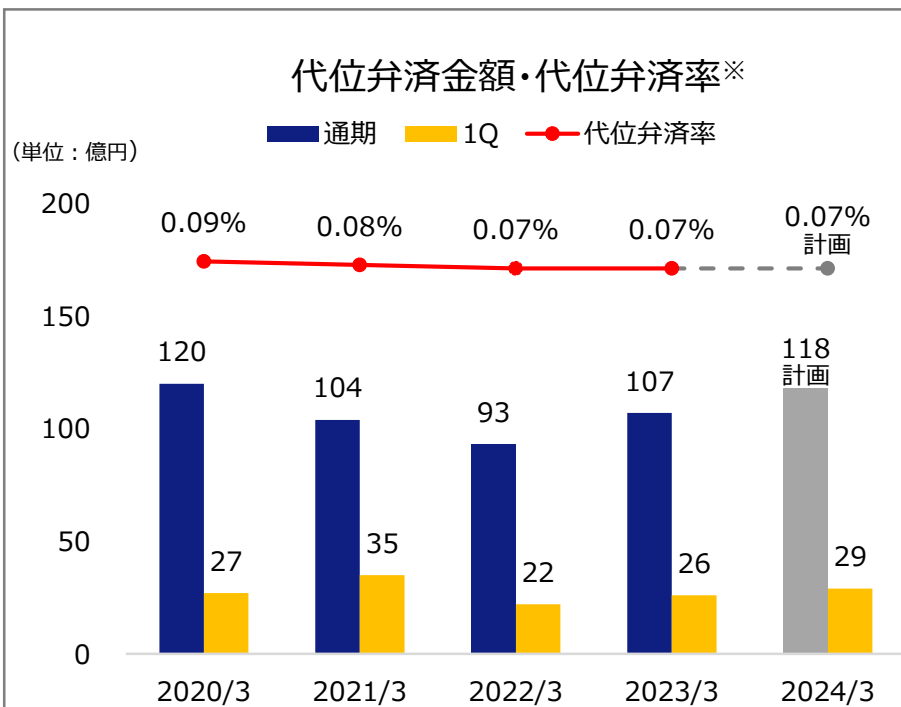
2024年3月期計画	
代位弁済金額	11,800百万円
2024年3月期1Q実績	2,933百万円
求償債権回収	8,815百万円
2024年3月期1Q実績	1,562百万円

■ 代位弁済金額

代位弁済金額は、前年同期より増加したものの、引き続き低位で推移
金融機関と連携し、保証委託者の状況変化の早期把握に努める

■ 求償債権回収金額

求償債権回収金額は、前年同期とほぼ同水準となった
不動産価格の高騰に伴い、担保処分による回収率も高い水準を維持



※代位弁済金額/期初保証債務残高
※2023年3月期より子会社を含む

※民間金融機関住宅ローン保証における担保物件の売却（任意売却・競売）による回収割合
※2023年3月期より子会社を含む

2024年3月期 第1四半期 決算サマリー (P/L)

(単位：百万円)

	23/3期 第1四半期	24/3期 第1四半期	前年 同期比
営業収益	10,276	10,536	2.5%
営業費用	2,671	2,723	1.9%
うち与信関連費用	608	589	▲3.2%
債務保証損失引当金繰入額	782	781	▲0.2%
貸倒引当金繰入額	▲174	▲192	-
うちその他	2,063	2,134	3.5%
営業利益	7,604	7,812	2.7%
経常利益	7,993	8,368	4.7%
特別損益	▲65	654	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,483	6,449	17.6%

補足説明

■ 営業収益

営業収益は、新規保証実行の増加や保証債務残高の着実な積み上げにより、105億36百万円と増収となった

■ 営業利益

与信関連費用、その他費用が計画を下回り進捗し、営業利益は78億12百万円を計上

■ 経常利益

有価証券購入等による営業外収益の増加などにより、83億68百万円を計上

■ 特別損益

東日本保証サービスの株式取得および連結子会社化に伴う負ののれん発生益など、6億54百万円の特別利益を計上

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記の状況により、四半期純利益は64億49百万円と増益となった

2024年3月期 第1四半期 決算サマリー (B/S)

(単位：百万円)

資産の部			
	23/3期末	24/3期 第1四半期末	増減比
流動資産	183,180	141,969	▲22.5%
現金及び預金	164,959	122,667	▲25.6%
求償債権	13,537	15,036	11.1%
有価証券	9,227	9,333	1.1%
貸倒引当金	▲6,743	▲7,432	10.2%
固定資産	259,765	294,345	13.3%
投資その他の資産	257,964	292,527	13.4%
投資有価証券	227,200	261,145	14.9%
長期貸付金	7,003	7,705	10.0%
長期預金	19,000	19,000	0.0%
資産合計	442,945	436,314	▲1.5%

負債の部			
	23/3期末	24/3期 第1四半期末	増減比
流動負債	32,194	29,054	▲9.8%
前受収益	17,559	17,576	0.1%
債務保証損失引当金	6,145	6,502	5.8%
固定負債	205,131	205,197	0.0%
長期借入金	30,000	30,000	0.0%
長期前受収益	174,719	174,763	0.0%
負債合計	237,326	234,252	▲1.3%
純資産の部			
株主資本	205,701	201,959	▲1.8%
評価・換算差額等	▲81	103	-
純資産合計	205,619	202,062	▲1.7%
負債・純資産合計	442,945	436,314	▲1.5%

補足説明

- 高格付け社債の購入等により現預金が減少し、投資その他の資産が増加



業績予想

(単位：百万円)

	23/3期	24/3期	前期比
営業収益	50,272	53,000	5.4%
営業費用	10,387	12,700	22.3%
うち与信関連費用	2,073	3,400	64.0%
債務保証損失引当金繰入額	2,861	3,700	29.3%
貸倒引当金繰入額	▲787	▲300	-
うちその他	8,314	9,300	11.9%
営業利益	39,884	40,300	1.0%
経常利益	41,456	42,500	2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	28,584	29,450	3.0%

業績予想の前提	
保証債務残高	17兆0,000億円
新規保証実行件数	60,000件
代位弁済金額	11,800百万円
求償債権回収	8,815百万円

主要計数	
一株当たり当期純利益	428.53円
一株当たり配当金	170円
ROE	13.7%



1. 決算の概要



2. 2024年3月期の取り組み進捗

2024年3月期の取り組み

- 2023年4月より開始した、新中期経営計画の基本方針に沿って各種施策に取り組む

中期経営計画
2023.4～2026.3

Next Phase～成長と価値創造～

ビジョン

更なる成長と価値創造を実現する
「住宅ローンプラットフォーム」
を目指す

中期経営計画 基本方針

基幹事業の
拡大

新規住宅ローン市場での
事業規模拡大

既存住宅ローン市場からの
保証残高獲得

周辺事業への
進出

案件獲得チャネル拡大

他社との協業、M&A

サービスの業容拡大

企業価値の
向上

資本活用政策の実施

ESG諸課題の解決

- 基幹事業の拡大に向けた取り組みとして、住宅ローン新規貸出市場での保証事業拡大および既存住宅ローン市場からの保証残高獲得を実施
- 既存住宅ローン市場からの保証残高獲得については、中期経営計画期間中に1兆2,000億円、2024年3月期に4,000億円の獲得を目指す

新規住宅ローン市場 (市場規模19兆円)

新規住宅ローン市場での保証事業拡大（オーガニック成長）

- ◆ 「顔のみえる保証会社」として商品説明会、相談会を開催
前年度までは、コロナ禍で開催数が従前より減少
当年度は積極的に開催数を増やし、金融機関とのリレーション強化を図る
- ◆ 2022年10月に設立した商品開発部門において、新商品の開発に取り組む
2023年4月からは、30代までの子育て世代をターゲットとしたキャンペーンを開始

既存住宅ローン市場 (市場規模190兆円)

既存住宅ローン市場からの保証残高獲得（インオーガニック成長）

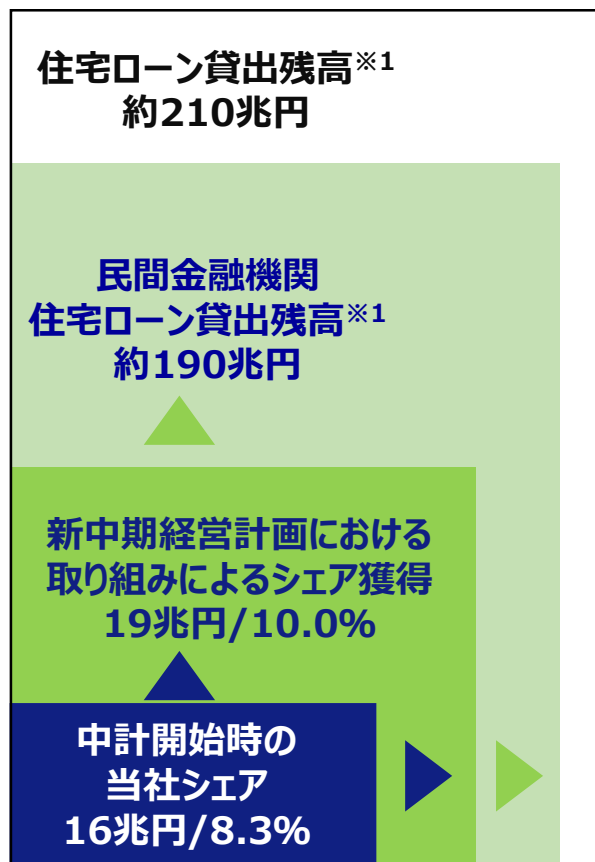
- ◆ 東日本保証サービス株式会社を子会社化、他の保証会社のM&Aなどによる、保証残高の獲得に向けた取り組みを継続
- ◆ 保証債務残高獲得と同様の効果をもたらすRMBSの購入等の実施

実績は次ページ

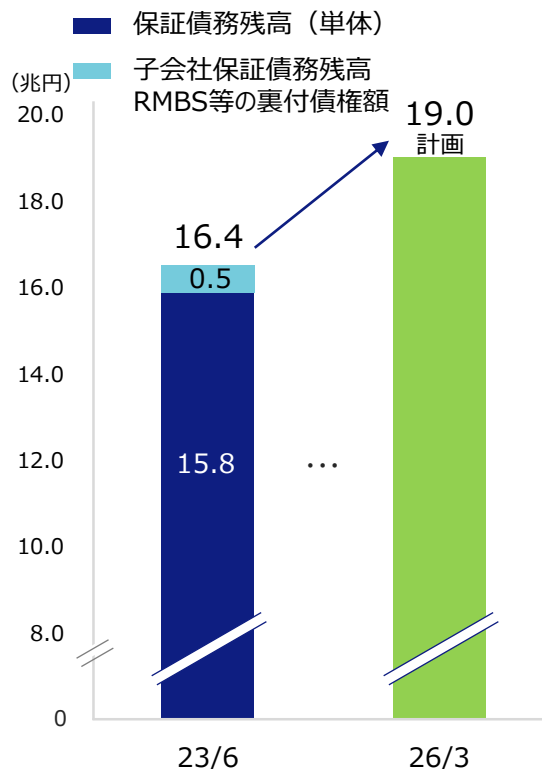
既存住宅ローン市場からの獲得実績

基幹事業の
拡大

- 民間金融機関による住宅ローン貸出残高は約190兆円と巨大な市場、そのうち当社保証付の住宅ローンは約16兆円、巨大な既存住宅ローン市場で更なる成長を目指す
- 2024年3月期においては、株式取得による子会社化やRMBS購入等により、750億円分を既存住宅ローン市場から獲得した



保証債務残高とRMBS等の裏付債権額の合計



2024年3月期 既存住宅ローン市場からの獲得実績

手法	獲得実績
株式取得（子会社化）	344億円
RMBS購入等※2	406億円
合計	750億円

※1 住宅ローン貸出残高は住宅金融支援機構「業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高の推移」を基に当社にて算出

※2 RMBS等は、裏付債権額を記載

- 周辺事業への進出に向けた取り組みにより、住宅ローンプラットフォームを目指す
- 広い視野で他社連携を進め、住宅ローン保証事業を中核とした新たな事業展開を進めていく

案件チャネル拡大

住宅ローンプラットフォームの構築

- ◆ 不動産検索サイトや不動産会社など、様々な業態から案件を受付できるプラットフォームを構築
- ◆ 上記の仕組みを利用し、物件検討前に借入可能額が把握できるサービスを提供、同サービスの2023/4~6利用実績は合計2,066件


他社との 協業、M&A・投資

シナジーを見込める会社との協業、M&A・投資




- ◆ 周辺事業への進出に向けて、新たな事業を創出するため、スタートアップ企業との協業に向けた取り組みを実施
- ◆ CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）設立に向けた取り組みを実施
住宅ローンや住まい・暮らしに関する分野でシナジーを見込める会社との協業、M&A・投資を進めていく（次ページ参照）

- 2023年7月31日、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）を通じたスタートアップ企業との協業等による事業創出を図るべく、ベンチャーキャピタルと投資事業有限責任組合を共同設立した旨を発表
同日、住宅ローンテック企業である、iYell（イエール）株式会社への出資合意についても発表
- 住宅ローンや住まい・暮らしに関する分野でシナジーを見込める会社との協業、M&A・投資を進め、信用保証事業を中心としたプラットフォームを構築し価値創造を行う

【CVCファンドの概要】

ファンド名	全国保証イノベーション投資事業有限責任組合  全国保証 イノベーションファンド
無限責任社員	Spiral Innovation Partners LLP
有限責任組合員	全国保証株式会社
ファンド規模	50億円
投資期間	10年
投資領域	フィンテック、不動産テック、住生活関連サービスなど

【投資領域】

	フィンテック
	不動産テック
	住生活関連

- 自己資本が必要資本の水準に到達したことから、資本活用フェーズへ移行
成長投資と株主還元の着実な実行を進めていく
- ESG関連の取り組みを着実に進めることで、リスクの抑制と機会の獲得を図り、企業価値向上につなげていく

資本活用政策の実施

成長投資と株主還元の着実な実行

- ◆ 成長投資の着実な実施（基幹事業の拡大、周辺事業への進出）
- ◆ 株主還元については、配当性向の段階的な引き上げと、成長投資の未使用部分について機動的な自己株取得を実施する予定

ESG諸課題の解決

重要課題解決に向けた施策

- ◆ 次世代リーダー育成のため、サクセッションプランの運用を開始
- ◆ 新たな研修制度の運用開始など、人的資本への投資を実施
- ◆ 気候変動リスクの定量化に向けた取り組みを実施
- ◆ 全国保証人権方針の制定



免責条項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

この資料は投資家の参考に資するため、全国保証株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2023年8月7日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提や当社独自の判断に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。



全国保証株式会社

for your dream and happiness